

## 令和2年度 病害虫防除技術情報 第5号

令和2年7月22日  
大分県農林水産研究指導センター  
農業研究部

### コブノメイガの防除対策の徹底について

7月中旬の巡回調査では、コブノメイガの苞葉を40圃場中18圃場で確認しました。発生圃場率は45.0%（平年26.7%）、25株当たり苞数は3.9（平年0.8）でともに平年より高く、飛来時期も早く被害葉の中には幼虫が確認できないものが多く、既に蛹化していたと考えられます。また、7月22日の予察田における調査では既に成虫の発生を確認し、発蛾最盛期と思われます。このことから本虫の発蛾最盛期は7月5半旬と考えられますが、地域によって異なる場合がありますので、圃場で確認のうえ防除を徹底願います。

【作物名】 水稻

【病害虫名】 コブノメイガ

- 1 本田防除剤 本虫の防除適期は孵化直後の若齢幼虫期で、粉剤や液剤の場合は発蛾最盛期から5～7日後、粒剤は発蛾最盛期となるので、防除時期を失しないよう注意する。防除薬剤は表1を参考にする。

表1 コブノメイガ登録農薬

商品名	希釈倍数・使用量	使用時期	使用回数	散布液量
トレボン粉剤DL	3～4 kg/10a	収穫7日前まで	3回	
トレボン乳剤	1,000倍	収穫14日前まで	3回	60～150 $\frac{g}{L}$ /10a
MR. ジョーカー粉剤DL	3～4 kg/10a	収穫7日前まで	2回	
MR. ジョーカーEW	2,000倍	収穫14日前まで	2回	60～150 $\frac{g}{L}$ /10a
パダン粒剤4	3～4 kg/10a	収穫30日前まで	6回	
パダンSG水溶剤	1,500倍	収穫21日前まで	6回	60～150 $\frac{g}{L}$ /10a
ロムダン粉剤DL	3～4 kg/10a	収穫14日前まで	2回	
ロムダンゾル	1,000倍	収穫21日前まで	2回	100～150 $\frac{g}{L}$ /10a

※大分県主要農作物病害虫及び雑草防除指導指針より抜粋

### 2 防除上の注意事項

- (1) 薬剤散布については、農薬使用基準（使用量、使用時期、使用回数等）を遵守するとともに、周辺作物への飛散防止対策を徹底する。

ホームページアドレス <http://www.jppn.ne.jp/oita>

